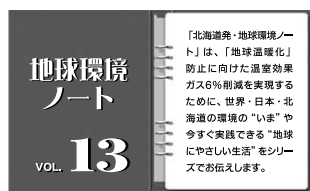




HOKKAIDO! ECO

地球の“いま”と向き合い、“いま”に気付いて、“いま”から思いやりのある行動を
地球にやさしい・エコプロジェクト



どうする -6%?!

温暖化対策の「はじまり」と「いま」

地球温暖化を防止するために、
CO₂などの温室効果ガスをどう減らしていくかが
国際的な課題となっています。
日本が京都議定書で世界と約束した
温室効果ガス削減目標は6%。
この夏、環境サミットと称される
「北海道洞爺湖サミット」の開催地となった
緑の大地に住む私たちから、
積極的な取り組みを進めましょう。

【第1章 はじまり】

世界との約束 マイナス6%



そもそも京都議定書って?

京都議定書は、先進国の温室効果ガス削減目標を定めた国際条約のこと。1997年に京都で開かれた「第3回 気候変動枠組条約締約国会議」で決まったため、こう呼ばれています。このなかで日本は、2008年から2012年までに温室効果ガスの排出量を、1990年に比べて6%削減することを約束しています。今年は2008年。もう待たない状況です。

温室効果ガスは減ってるの?

2006年度の日本の温室効果ガス総排出量は13.4億トン。京都議定書の基準年である1990年が12.61億トンですから、減どころか逆に6.2%増えてしまいました。日本が世界と約束したマイナス6%を達成するためには、増加分の6.2%を加えた12.2%を削減しなければなりません。

森林や京都メカニズムも活用

京都議定書では、直接的な国内の排出削減以外に、海外で実施した温室効果ガス削減量を、自国の削減約束の達成に換算する「京都メカニズム」や、森林によるCO₂吸収量を削減約束に算入することが認められています。日本は森林吸収源対策で3.8%、京都メカニズムで1.6%、あわせて5.4%を割り当ててとしています。

部門ごとに確実に削減

先に示した12.2%削減から、森林吸収と京都メカニズムの5.4%を差し引いた残りは、「6.8%」。これが、実際の取り組みで削減しなければならない値です。確実に削減するために、産業、運輸、オフィス、そして私たちの生活（家庭）というように、部門ごとの目標を定めて取り組むことになっています（セクター別アプローチ）。

現実的には
6.8%削減が必要



【第2章 いま】

大切なのは 家庭の省エネ



家庭から出るCO₂が増えたワケ

+30% 1990年度と比較した2006年度のCO₂排出量を部門ごとに見ていくと、産業部門（工場など）が4.6%減ったのに対し、家庭部門（私たちの生活）は30%も増えてしまいました。携帯電話やパソコン、温水洗浄便座、大型テレビなど、家電の多様化・大型化が進み、エネルギーの消費量が増えたことが、その一因となっています。

みんなで省エネに取り組もう

-19.1%~-21.5% 家庭部門に求められているCO₂削減量は、2010年度のCO₂排出量を、2006年度の排出量から19.1%~21.5%削減（1990年度比）した値となっています。これを達成し、地球温暖化を防ぐためには、省エネルギーが不可欠。使わない部屋の電気を消す、近所へは自動車ではなく歩くなど、無理なく続けることが大切です。

道民の取り組みが地球を救う

1.3倍 寒さの厳しい北海道は、たくさんの暖房エネルギーを必要とするために、1人あたりのCO₂排出量は、全国平均の約1.3倍となっています。家庭部門のCO₂排出割合も全国が13.5%なのに対し、北海道はそれを上回る20.5%となっています。北海道の家庭の省エネが、地球温暖化防止を前進させるカネマです。

一人一人がエコの主役

-1.1kg 今年は、京都議定書の約束期間の初年であるだけでなく、環境サミットと呼ばれる「北海道洞爺湖サミット」が開催された年でもあります。サミットを契機に、道が策定した「北海道環境宣言」では、家庭のCO₂削減目標を「一人一日10%（1.1kg）削減」としています。温暖化防止に向けて、北海道に住む私たちから、行動を起こしましょう。

北海道から
行動しよう



【ACTION】

楽しみながら一人一日
1.1kg CO₂削減!

北海道のCO₂排出量を押し上げているのは、暖房です。寒さが本格化するこれからの季節、暖房温度を1℃下げるなどの省エネに取り組めば、灯油代や電気代を節約できます。

- ①暖房の設定温度を1℃低くする
521g CO₂削減（21円節約）
- ②天井から床までのカーテンを使用する
270g CO₂削減（11円節約）
- ③白熱電球を電球型省エネルギーランプに取り替える
53g CO₂削減（3円節約）
- ④1時間テレビの電源を切る
96g CO₂削減（5円節約）
- ⑤暖房便座は使わないときにはフタを閉める
63g CO₂削減（3円節約）

計 1.003kg CO₂削減（43円節約）

※参考 北海道「道民・事業者のための環境行動の手引き」（2008年4月）